

エアムーブ工法は、平成26年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業【プラスワン・システム】に承認されました。

エアムーブ工法は、省エネルギー性が認められ、且つ、「先進性」「将来的な発展性」「オリジナル性」等が認められる提案として平成26年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業における[プラスワン・システム](#)として承認されました。

[ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業](#)とは、高断熱性能、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）で概ねゼロとなる住宅を導入する者（建築主又は所有者）に補助金を交付し、その活動を支援する事業です。


＜執行団体＞ 一般社団法人 環境共創イニシアチブ、一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業の補助金の申請において、[プラスワン・システム](#)を導入することが条件の一つになります。

※H26年度の申請期間は終了いたしました

4.SIIが「[プラスワン・システム](#)」と認めるシステムを導入すること。（省エネルギーに資する設計手法又は制御機構を持った機器でかつ先進性の有するものを対象とする）

※参考：平成26年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業 HP




季節ごとの良い住まい
エアムーブ住宅

エアムーブ住宅は誕生からずっとスマートハウスでした。

省エネ パッシブエネルギー利用

(エアスルーシステム搭載)




放熱 排気口 屋根断熱 壁断熱 基礎断熱 給気口

外気を床下（基礎給気口 風樹）から取り入れ、熱気や湿気を棟（換気扇 涼樹～棟カバー針葉樹）から排出する。これにより家の中が快適な空間となる。

創エネ 太陽熱利用

(エアムーブ工法)




集熱 排気口 給気口

太陽熱を利用し、屋根・壁面に集熱。集まった熱は、躯体内の空気に伝って家全体を循環。それにより、どの部屋にも自然な暖かさがもたらされる。

蓄エネ 蓄熱利用

(床下コンクリートに太陽熱を蓄える)



排気口 給気口

窓などから取り入れた太陽熱を床下から床下コンクリートへ蓄熱。コンクリートの作用により夜間放熱するため、自然の暖かさが家全体に広がる。

※エアムーブ住宅は家を包み込みように、基礎断熱、壁断熱、屋根断熱が施されています。

省エネ 創エネ 蓄エネ **エネルギーマネジメント** ● HEMS ● スマートフォンとの連携 など